

動画の構成で再生維持率を向上。うまく話す為のテクニック

YouTube の動画を撮影するためにいざカメラの前で撮影をしようと思うとなかなかうまく話せない。

と言う方も多いのではないのでしょうか？

私も決して話すのがうまいわけではなく、どちらかと言えば苦手の方です。

今ではうまくなったよりは慣れた方が近いかもしれません。

でもこれからお話をする方法をしてもらおうと口下手でも比較的うまく話せて伝える事ができる様にもなります。

YouTube で集客するためには SEO や関連動画を意識する必要があります。

しかし、そもそも動画の内容が面白くなかったら最後まで見たいと思いませんよね。

YouTube でも非常に上手に話している方が多くどのように話していけばいいのか悩むことも多いと思います。

この PDF では上手に話せるためのテクニックをお伝えしていきます。

すぐにでも簡単に行うことができるのでぜひ真似してみてください。

テクニックその1 ブログとは違い結論は後から話す

ブログを書いていると必ず

初めに結論を述べるようにしましょう

こんなふうにかかれていることがほとんどです。

あなたももしかしたら一度は聞いたり読んだりしたかもしれません。

記事の場合は結論からお話しをしてその後に中身の説明をするというのが通常のパターンです。

しかし、動画の場合は逆パターンを行います。

結論は全て出さず話して興味を引かせることに集中する

テレビを見てもらうとよくわかると思いますが、1番見たいところを1番最初に見せます。

でもこの先がどうなるかと言うクライマックスは絶対に見せません。

『もう少しみたい！』

この感情が大切です。

最後を知ってしまうと最後まで見てもらう可能性が低くなってしまうからです。

ではどのようなテレビ構成になっているのか？

最初にクライマックスから見せて、そこに向かわせるためにテレビを作ります。

所々に見所があり見ている方が飽きないように動画を作成しています。

CMでも総集編の様な形で面白さ、続きが気になるように構成されています。

テレビもYouTubeと同じで

視聴率

が大切だからです。

YouTubeだと最後までどれだけの方がみているのか。

視聴率が高いとスポンサーもつくし、広告もどんどん入れられます。

YouTubeでもこれと全く同じことを行います。

重要なポイントをお話しをするけれども、それ以上の事は話さずに最後まで見てもらったらわかりますよと言う形にします。

一度参考に例を出します。

タイトル

1日でチャンネル登録者数を100人増やす。治療院だからできるマル秘テクニックとは？

私が話すコンテンツだとすると冒頭で少し興味がありますよね。

たった1日で100人増やす方法って何をするんだろう？

この時点で少し続きを見てみたいと思います。

話の中身

実は多くの方がチャンネル登録者数を増やそうと間違っていることがありますそれは・・・

コンテンツの内容を話す

視聴者さんの心理

『私も確かにこの方法で増やそうとしているけども難しいのが現実だよな。じゃどうすんよ？』

こんな風になります。

あくまでも共感の部分がここになります。

もっと簡単にチャンネル登録者数を増やす方法が3つあります

- ①
- ②
- ③

そして最も大切にチャンネル登録者数を増やすのに重要なことが

3つ目(これが一番言いたいこと)

これが1番チャンネル登録者数を増やすのに簡単です。

なぜ重要なのかを今からお話をする3つを聞いてもらうとよく理解できます。

ここで最後までみてもらう為の布石を置きます。

実際に見ると

『なるほど。これだったら明日からすぐにでもできそうだな』

イメージとしてはこのような感じです。

じらすと言うことと納得感が同時に得られることができれば

『このチャンネルはすごく楽しいな。他の動画も見よう。』

こんなふう to 思います。

同じ構成で同じ内容なのに話す順番が違っただけで全く面白くない内容の動画出来上がってしまいます。

再生維持率が全てではありませんが、視聴者がたくさん見て長い時間見てくれれば見てくれるほどあなたのチャンネルの評価は確実に上がっていきます。

YouTube 側のおすすめしやすくなります。

テクニックその2 普段の話すスピードよりもアップテンポで喋る

もう一つ重要な部分が、

アップテンポで話、なおかつリズム感がある動画

早口とは違います。

リズムカルという方がわかりやすいと思います。

色々な YouTube を見てもらうとわかりますが、

アップテンポでリズム感の良い動画たくさんあります。

HIKAKIN さんや他の YouTuber さんも比較的アップテンポでリズム感のある動画多いです。

ゆっくりとノロノロした動画ははっきり言うと

見ていて飽きてしまいます。

アップテンポでリズムカルな方としては

DAIGO

<https://www.youtube.com/user/mentalistaigo>

中田敦彦

<https://www.youtube.com/channel/UCFo4kqllbcQ4nV83WCyraiw>

この2つのチャンネルを見てもらうとわかりますが、かなりリズムカルに話しているのがわかると思います。

なぜならば視聴者さんを飽きさせないためにリズムよくテンポよく話す方が良いのを知っているからです。

このリズムカルな話し方次い繋がります。

テクニックその3 編集ありきで動画を撮影する

リズムカルに話ができるようにカッティングを前提とした動画の作成をするようにします。

YouTuber も話のプロではありません。

かんでしまったり変な間が空いてしまったりすることもあります。

そこを何も編集せずにそのまま動画を出すと非常に聞きにくい動画になってしまいます。

先ほど言ったリズムがかなり悪いんです。

できるだけ余計な部分は削除します。

これは編集で全てできます。

うまく話そうと編集なしで動画を撮影することはほぼ無理だと考えてください。

むしろそのようなことをする必要はありません。

他の方を見てもらってもわかりますが全員編集ありきで動画を作成しています。

間をどんどんカットイングして極力少ない状況で動画を作っています。

編集でいくらでもうまく撮影することができるので、編集を大前提に考えてもらえればいいです。

以上3つのポイントに注意しながら動画を撮影するとうまく話せることもできるし、再生維持率が増える動画も作ることができます。

また、この方法を意識しながら話していくと必ず上手に話せるようになるのでぜひ参考にしながら動画撮影に挑戦してください。